

事務事業名		漏水防止対策事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当組織	担当部	水道局	担当課	工務課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			担当係	給水係	担当課長名	大澤信夫	
	施策	4	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2	水道事業の安定した経営			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
		水道事業				市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S14年度～	年度	根拠法令 条例等	実施方法		一部委託		
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・実施区域を選定し、計画的に市内全域の漏水調査を行う。 ・実施方法は、専門業者に業務委託を発注し調査を行い、調査結果報告書を提出させる。 ・漏水発見後は、速やかに指定給水装置工事業者に依頼し、修繕を実施する。			配水管延長544km漏水調査業務委託の実施、及び漏水発見個所の修繕							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
漏水調査を実施した管延長			km	504	522	554	520	520		
漏水発見件数			件	222	125	200	200	200		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
水道局で維持管理すべき配水管等の延長			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
管延長			km	822.6	823.2	824.2	824.5	825.0		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
漏水を早期に発見し修繕する			漏水の防止量	m³/時	106.9	76.8	100.0	100.0	100.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全な経営がなされている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
有収率			%	85.99	83.59	85.63	87.0	87.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)				
	国庫支出金	千円									
	県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その 他	千円									
	一般会計	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	24,150	25,380	31,860	31,860	31,860				
	事業費計(A)	千円	24,150	25,380	31,860	31,860	31,860				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
		委託料	24,150	委託料	25,380	委託料	31,860	委託料	31,860	委託料	31,860
人件費	人	1	1	1	1	1					
のべ業務時間	時間	160	160	160	160	160					
人件費計(B)	千円	623	631	631	631	631					
トータルコスト(A)+(B)	千円	24,773	26,011	32,491	32,491	32,491					

事務事業名	漏水防止対策事業	担当部	水道局	担当課	工務課	担当係	給水係
-------	----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和14年水道事業開始以来、継続して水道水の安定供給を確保するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	漏水調査に係る技術(精度)とともに有収率の向上も見込まれるが、毎年配水管の老朽化も進んできている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 漏水を早期に発見し修繕を実施することは、有収率の向上に結び付くことのみならず、安全で安定した水の供給に寄与するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 水道法により、水道事業は原則として市が経営するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 全ての配水管について調査しなければ、漏水を早期に発見し修繕を実施することは不可能であり、現状の対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 多くの漏水箇所を発見し、有収率の向上につながっており、地下埋設管であるという特性から、実施しない場合、漏水発見が遅れ二次災害につながるおそれもある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業費については、競争入札により委託契約を行っており、人件費についても担当者1名で効率的に事務処理をしているので、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 使用者の水道料金で維持管理費用を賄っているため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 水道事業の維持管理が全て第三者委託になった場合。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			